

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	木造構法小委員会	主 査 名：榎藤 智之 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：岸本 達也
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>日本における木造建築は、過去から現在につながる歴史性はいままでもなく、現在では持続可能な社会を支えるエコロジカルな建築として再認識されており、今後の社会基盤を構成する重要な要素となっている。</p> <p>本委員会では、このような木造建築を多角的に捉えて、在来木造、民家、中大規模木造を含めた総体の現状認識を行い、今後の方向性を見出してゆく。</p> <p>初年度：(1) 海外の木質構法の普及状況・その背景、(2) 戦後の木質構法の変遷、(3) 民家・小屋および近代木造建築を対象とした近年の構法研究、の 3 点について情報収集や研究会を実施する。</p> <p>2 年度：上記 (1) ～ (3) について、研究集会等を行い、対外的に情報を発信する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：榎藤 智之 (東京大学) 幹事：山畑 信博 (東北芸術工科大学)、金子 晋也 (札幌市立大学) 委員：青島 啓太 (追手門学院大学)、大橋 好光 (東京都市大学)、釜床 美也子 (香川大学)、金 善旭 (八戸高専)、後藤 治 (工学院大学)、小見山 陽介 (京都大学)、杉本 健一 (森林総合研究所)、樋口 貴彦 (東洋大学)、堀江 亨 (日本大学)、松本 直之 (東京大学)、山田 宮土理 (早稲田大学)、渡邊 史郎 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2021 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む、4 回は若手主体の研究会として実施)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 民家・小屋をテーマとした研究集会の実施に向けて、外部の参加者も呼び研究会を定期的に開催している。 2. 戦後の木質構法について、研究会の中で部分的に扱った。
委員会活動の問題点・課題	海外の木質構法に関する研究活動を進められなかった。委員毎には研究が行われているので、委員会として情報共有など進めたい。